

仏事の知識

油断大敵

滋賀県大津市にある天台宗總本山比叡山延暦寺の根本中堂には、開祖最澄の時代から千二百年間途絶えたことがないといわれている『不滅の法灯』がある。僧侶が毎日、灯が消えることのないようになたね油を注いでいる。油断の



不滅の法灯

「油」は電気の無い時代の明かり、行灯などの油のこと。うっかり油を注ぐのを怠ると大切な灯が消えてしまい大変なことになることから、準備を怠った事で事態が悪くなることを「油断」というようになった。織田信長によって比叡山は焼き討ちに会うがこの不滅の法灯だけは持ち出され難を免れた。これを語源とする四文字熟語が、『油断大敵』である。他の説もある。

梅花だより

宗務所主催梅花流奉詠大会

期日 十月二十三日

会場 村上市

ふれあいセンター

秋晴れの一日、第四宗務所管内第一教区から第二十三教区まで合計参加者七百八十二名、師範詠範の登壇まで計九登壇、それぞれ日頃の成果を発表、素晴らしいお唱えでした。第十六、十七教区は三番目に登壇、奉詠曲は「道元禅師学道御和讃、御詠歌(倉古)」。広厳寺講からは十九名参加しました。



登壇奉詠後のアトラクションはソプラノ歌手外山しのぶさんと、金子みすゞの詩の世界と日本の叙情歌」を披露してくれました。

当寺練習会

十一月 六日(金)午後一時〜
十一月二十日(金)午後一時〜

宗務所主催検定会

期日 十一月二十七日(金)
会場 五十公野金蘭荘

*梅花流詠歌(御詠歌)を始めませんか!お釈迦さま道元さま瑩山さまを讃え、ご先祖様を敬うところを唱えます。

永平寺だより

二男秀孝は十月に法堂の殿行でんなん(本堂の法要係)から総受処に転役、以前に居たことのある寮舎で、今度は「接寄せつす」という会社という係長のような立場になり、参拝、参籠法要等の受付事務をこなします。来春には四年目の修行に入ります。また、長谷寺様の祥永くん、増慶院様の大くんが十七教区から来春修行に行く予定です。

仏教講演会終了

十月十日(土)午後一時より広厳寺本堂於いて、露の新治さんの「新ちゃんのお笑い人権高座・笑顔で暮らす、願いに生きる」が十七教区寺院主催にて開催されました。共演は大衆ソウルシンガーのインディさん。お笑いまじえながらの人権の話と、落語は「ちりとてちん」を一席披露してくれました。



露の新治さん、インディさん

来年の年回忌のご案内は、各家へ直接文書にてご通知いたします。本堂には張り出ししておりません。

1周忌、3回忌、7回忌、13回忌、17回忌、23回忌、27回忌、33回忌(弔い納め)